

第52回全国農業経営者研究大会

（宮澤哲雄会長、略称・  
全鶏会議）は2月2日、  
東京都中央区のAP東京  
八重洲の実会場とオンライン  
のハイブリッド形式  
で「第52回全国農業経営

PAIは「ワクチンを使つて抑えるしかない」といふ考え方が出でくる一方で、ワクチンを使用しない理由も理解して対策しなければならない。いざワクチンを使つて大変なことが起きると、養鶏業界そのものが批判されてしまうため、冷静かつ着実に勉強していくないと考えている。HPAIのりの大きい一日にしてしまったが、少しでも養鶏業界の心は、どちらもその心は、どちらも運営業者が養鶏業者からいろいろな意見をもらったり運営するHPAIについて、えなければならぬ本日の謎だけは、チン接種とかけて、一ピッチャーと解説の心は、どちらも運営業者が養鶏業者からいろいろな意見をもらったり運営するHPAIについて、えなければならぬ

# 物流と鶏卵消費促進テーマに 全鶏会議 養鶏分科会

全日本トラック  
養鶏分科会では、

でないかたを育むが年齢の若さが高い」といふところへ出ていく。説明し、2024年4月 そのような中で、議論 1日から施行される時間 鶏卵の消費促進

アーリーフレットを作成 食育活動に有効活用  
し、昨年は『全国めだまる』「シテンツやデー」

では件数のみの発表で与えると思う。急に運ぶ808件で、日本の数倍の規模で発生している。また、セブンイレブンがサンディッシュメニューで卵の使用量を減らすことにも気になる。アメリカのコロラド州ではハムを増やす間に、費用促進についてと野鳥の死亡が増えている。星野部長が「物流の20年問題」、「株式会社藤大天食」が「鶏卵で卵の販売を増やす間に、て講演した。

クガンが1600羽以上死んだというニュースがCNNで流れている。物語のシフトが起りつつある。せっかく伸ばしてきた卵の消費量が収縮

物流の24年問題

星野部長は「トラ

宮澤哲雄会長



星野治彦氏



關勝大夫氏

用の内容を紹介し、一方で「始めたま焼き」プロジェクト、ボルタルサーキュレーション等についても紹介。一方で「たまペディア」の開設、これからの難易度別事業平均並みの給与を実現費拡大運動について紹介することも、少子高齢化問題に向けた取り組みである。

チェックオフ制度等も紹介し、一覧が单独で活動するのではなく、3つの方法がある。チェックオフ制度は、薬業界がまとまって国化が必要で、日本で要望しないと、意図が伝わらないと思う」と強調した。

輸送は地域の暮らしと経済を守るという大きな役割がある。送料無料といふ言葉が今まで多くみられたトラック運送業界の現状は、荷待ち時間や手荷役作業時間が長いといった問題がある。また、荷物を運ぶ労働者が不足している。これらの問題を解決するためには、消費者への理解促進が重要である。消費者への理解促進では、「めでたしめでたし」という言葉が使われる。この言葉は、荷物を運ぶ労働者に対する感謝の意を表す言葉である。しかし、荷物を運ぶ労働者に対する感謝の意を表す言葉である。この言葉は、荷物を運ぶ労働者に対する感謝の意を表す言葉である。

また、鶏卵生産者経営安定対策事業の実施要綱では、令和2年度から加入生産者の拠出金によつて



## 第52回全国農業経営者研究大会の養鶏分科会